

1 はじめに

北宇和支部では、研究目標を「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践—教育の情報化の推進を通して—」とし、主に各町での活動を行っている。今年度は、昨年度に引き続き、学校グループウェアの積極的活用についてと、未来の学校に向けた ICT を活用したフューチャースクールの体験活動などを積極的に行い、研修を深めていくことができた。

2 情報教育委員会の活動について

(1) 第1回情報教育主任委員研修会

- ① 研究推進目標の立案
- ② 研究内容・推進計画の審議

(2) 第2回情報教育主任委員研修会

- ① フューチャースクール模擬授業体験
- ② 情報交換

(3) 北宇和郡学校グループウェア検討会

- ① グループウェアの運用方法について
- ② 管理方法に関する実技研修

(4) 第3回情報教育主任委員研修会

- ① 今年度のまとめと反省
- ② 来年への引継ぎ
- ③ 情報交換

3 各校の情報教育への取り組み

本年度も各町単位での活動が中心となり、それぞれの学校が校内研修等に取り組んだ。

主任委員研修会としてタブレット型パソコンを用いたフューチャースクールの模擬授業を体験し、未来の授業作りに向けての研修を深めることができた。

また、情報教育委員会夏季研修会において、昨年度の ESnet を活用した学校グループウェアの活用に関する取り組みについて発表する機会をいただいた。多くの方から取り組みに関して感想やご助言をいただき、今後の活用に向け大変参考にすることができた。

4 本年度の反省と今後の課題

(1) 情報教育主任が中心となり、全体研修や個人での伝達等を行った結果、北宇和郡の小・中学校での ICT を活用した授業への意識は高まり、実際に活用されてきている。各校の先生方が、実際に使ってみようという意識の高まりこそが、一番の成果ではないかと感じる。

(2) 北宇和郡学校グループウェアを、どの先生も手軽に使える教職員同士の有効なコミュニケーションツールにしていくために、今後も多くの方に使っていただき、改善を加えながら、更に熟成されたシステムの構築を目指していきたい。